
QA24 雨の日は空間線量率が高いのですが、今でも放射性物質が降ってきているのでしょうか

大気中にある天然の放射性物質（ラドンやラドンが壊れてできる物質）が、雨に洗い流されて落下し、地表面に集まるため、地表面近傍の空間放射線量が上昇するもので、降雨時には原発事故以前にも観測されていた自然現象です。これらの物質が放射線を出す期間は短く（物理的半減期が短い）、雨が止んでから概ね1時間以内に線量は降雨前の状態に戻ります。

参考リンク：新潟県「天気や場所により放射線量が違う理由について教えて」

<http://www.pref.niigata.lg.jp/houshasen/1206291659936.html>

出典：放射線医学総合研究所ウェブサイト「放射線被ばくに関する Q&A」より作成

出典の公開日：2012年4月13日

本資料への収録日：2012年12月26日